



是非とも、
挑戦したまえ!
へっへっへ〜(笑)

ヒラスズキハンター RED中村が
プロデュースしたアイテムを中心に
春磯に効くルアーローテーションから
カラーチョイス、使い方をまでを
独自の理論で伝授します。
磯で釣りをした事のない
アングラーでも
一読の価値あり!!

RED中村的 攻略法伝授!!

磯春を
撃破
せよ!!

さあ〜て、
次はどのルアーで
いこうかなあ?

活性が上がる春磯はルアーローテが鍵

1ヶ月遅れで産卵に入るヒラスズキもサクラが咲く頃になると、ようやく岸からの射程圏内へと戻ってくる。春だからと言って劇的に釣りが変わるワケではない。しかし、一発大物を狙う秋〜冬のシーズンと比較するとヒラスズキも中型の個体が主体となり、どちらかという数釣りの要素が加わってくる。

大型のシーバスは単独でいるケースが多いのだが、50〜70cmクラスのヒラフッコクラスとなると群れでいるケースが多い。最初の一本は比較的イージーに釣り上げることができるのだが、群れから魚を抜けば抜くほどスれてくる。できるだけ多くのヒラスズキを釣ろうとするならば、それなりのルアーローテを考える必要があると言える。

釣果を上げるルアーチョイス&カラーチェンジ

ヒラスズキゲームで基本となるのは他のシーバスゲームと同様、ミノータイプがメインとなる。サイズは120〜150mmクラスのもが中心となる。

私がパイロットルアーとしてよく使うのはサスケ140裂波やハウンド125Fグライド、ハウンド125Fファンクといったチョイス。まずはリアル系のカラーを使うことが多い。3月末〜4月にかけて水温が上昇する時期は海中

のプランクトン類も増加し、冬ほどの透明度が無い場合が多い。透明度が高い冬場ではリアル系の中でも比較的プレーンなホログラムを使用する。

しかし、春磯でのファーストチョイスは水中において最も太陽の光を反射しやすいメッキベースのものや、クラッシュホロ、スリットホロなど派手目なホログラムカラーを使用している。光の反射によるアピールで、根際に居着いたヒラスズキに気付かせようというチョイスである。

これで群れの中からヒラスズキをヒットさせ、ランディングに持ち込んだとしよう。普通ならすぐそのまま次のキャストをしてしまうものだが、ヒラスズキは確実に次に来るルアーをしっかりと見極めて来る。かと言って“ベイトらしきものがある”とヒラスズキは感じ取っているはずなので活性自体は上がって来ている。たいていの場合はここでプレーンタイプのローアピールなホログラムにチェンジするか、140mmサイズのルアーを120mmに落とすといったルアーチェンジをすることで、ヒラスズキを釣り続けることが





このポイント...
ヤバそうだなあ〜。
ぬっ!! 来たか?

できるはずである。
最終的にはブラック系の
カラーのミノーを投げて、光
の反射によるアピールではなく、
カラーコントラストによるアピール
へと目先を変えてやることにより、

さらに釣果は伸びるはずだ。また、同じ立ち位置で投げ続けず、カラーチェンジと同時に違う角度から同じポイントを叩くように心がけると良いはずだ。

スレが進んだ次の戦略とは!?

ひとしきり、ミノーによるカラーローテで群れから数本のヒラスズキを抜くと、“居ても食わない” 個体が出て来る。そこで登場するのが水面直下をブレードで攻めることができるフレシェット100を使用する。これもメッキ系カラーの光の反射と同じ系統のアピール力があるのだが、“ミノー”の動きにスレ切ったヒラスズキには非常に有効なルアーと言える。

リトリブ方法は基本的にタダ巻き。だが、潮の流れに入った時には速度を落としたりストップを入れるとさらにバイトを誘うことができる。潮の流れを掴み、ブレードが回転さえしていればルアーをストップさせていてもアピールし続けているからである。

もう一方で私がミノーの後に切り札で使用するのが、ハニートラップ95Sやバルバロッサ95&120といった大型のシンキングペンシル系である。これもミノーの動きを見切ってしまったヒラスズキには非常によく効くルアーである。

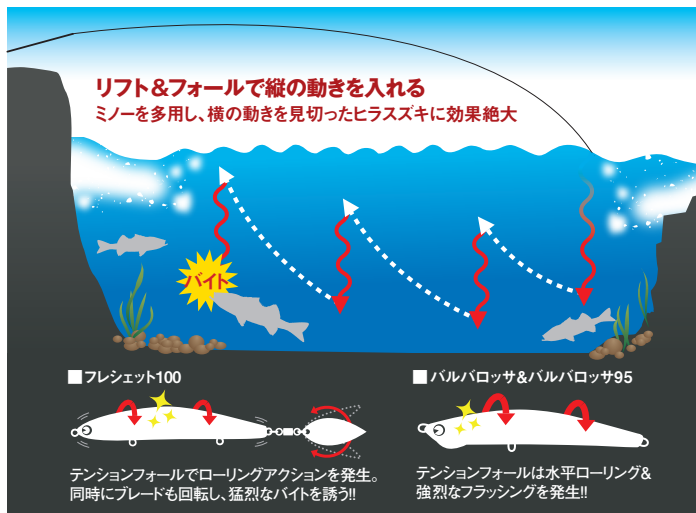
スローなタダ巻きでも十分効果があるが、風や流れを利用してドリフトさせて使用することにより、ミノーでは通せなかった角度でのアプローチも可能となる。また、ミノーやフレシェットのようなタイプのルアーは横方向の動きにスレた個体に対して、リフト&フォールを織り交ぜた上下の動き(縦方向の攻め)も可能なのが強みである。

ヒラスズキに興味があっても“磯”という少しとっつきにくいフィールドのせいか、二の足を踏むアングラーは多いと思う。しかし、そういう厳しい

地形の自然環境剥き出しのフィールドならではの面白さがヒラスズキには存在する。

また、非常にアバウトな釣りのイメージが強いヒラスズキであるが、意外にもピンに居着く魚なので、アキュラシー性がものを言う釣りである。その上、サラシというタイミングが加わってくるので、ピン撃ちの港湾アングラーにとっては面白い釣りははずである。これから迎える春シーズンの磯は梅雨近くまで楽しめるので、是非チャレンジしてみたいと思う。

■スレたヒラスズキに効果な釣り方

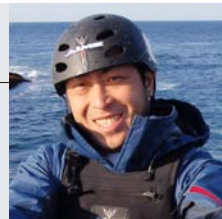


ANGLER

RED 中村
Nakamura RED

アムズデザイン広報担当。磯場のヒラスズキ&シーバスのイメージが強いが、イカやメバル、浮フカセでのメジナなど釣りは何でも好き。釣り以外にも食べ物(特にラーメン)ミタリ、鉄道等に興味を示す。

Blog:「赤い革命 ~The RED Star Army」
<http://www.fimosw.com/u/crimson>



RED中村プロデュース!! 春磯爆撃モデル 限定カラー4アイテムで戦闘開始!!

好評発売中!



Barbarossa A

2,625円(税抜 2,500円)



Barbarossa 95

1,890円(税抜 1,800円)



flechette 100

2,100円(税抜 2,000円)

■カラーラインナップ



オレンジベリースーデン



ファイヤースーデン



ゴールドサーデン

※カラーは4アイテム共通。画像はBarbarossa

■Barbarossa
#X1362 #X1363 #X1364

■Barbarossa 95
#X1365 #X1366 #X1367

■flechette 100
#X1368 #X1369 #X1370

■FLAMING DART
#X1371 #X1372 #X1373

■Barbarossa

[全長]120mm [重量]33g [タイプ]シンキング
[アクション]S字スラローム+ローリングフォール
[レンジ]20~80cm [フック]ST-46 #3

■Barbarossa 95

[全長]95mm [重量]22g [タイプ]シンキング
[アクション]S字スラローム+ローリングフォール
[レンジ]20~80cm [フック]ST-46 #4

■flechette 100

[全長]150mm(ボディ100mm) [重量]24g [タイプ]シンキング
[アクション]微振動ローリング+ローリングフォール [レンジ]10~80cm
[フック]ST-46 #6 [ブレード]オリジナル #3

■FLAMING DART

[全長]125mm [重量]20g [タイプ]フローティング
[アクション]ハンティングスラローム+ローリング
[レンジ]50~100cm [フック]ST-46 #3